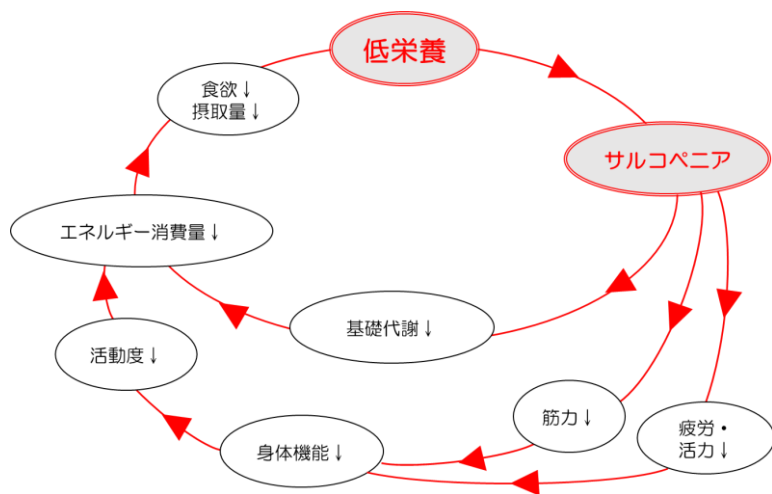




生命にかかわる「誤嚥性肺炎」を予防  
 食べられる喜びを一人でも多くの人に  
**訪問歯科センター**  
**NEWS LETTER**

平成30年 春号  
 川西市歯科医師会立訪問歯科センター  
 協力(一社)TOUCH  
<http://www.touch-sss.net/>  
 住所:川西市火打 1-1-7  
 TEL:072-757-0418  
 FAX:072-764-6480



「舘村 卓著：摂食嚥下障害のキュアとケア 第二版（医歯薬出版）ならびに舘村 卓著：口腔ケアプログラムの作り方（永末書店）より」

●●消化管活動が低下すると

体に何が起きるの？●●

前号にて、口から食べないと消化管活動が低下することをお話しました。それでは、消化管活動が低下すると、体に何が起きるのでしょうか。当然体は低栄養状態になります。非経口的栄養法の対象者は、寝たきり度が高く、体幹を支える骨（大腿骨など）の長軸方向への負荷(体重・重力)

が低下し、骨成分は溶出して、骨折のリスクや血中の成分濃度が高まり、尿路結石に至るリスクが増大します。また一方、エネルギー源である炭水化物や脂肪な

どの吸収程度は、ほとんど変化がないにもかかわらず、低活動性の為、消費されずに、見かけ上は「ふくよかな栄養失調状態」(※サルコペニア肥満)となり、栄養状態の低下に気づかないことが少なくないのです。サルコペニア肥満は、活動低下により、食事量や食欲が減退し、さらに低栄養となり、転倒・骨折や誤嚥による肺炎などの問題を生じ、より一層身体活動を低下させるという悪循環(フレイルティサイクル)を形成するわけです。それでは口腔はどうなるのでしょうか？

次号『低栄養になると口腔はどうなるの？(オーラル・フレイル)』にて解説します。

※サルコ = 筋肉  
 ※ペニア = 減少

●●利用者様の声をご紹介します●●

- ★ケアを始めてから、発熱しなくなった。  
(鼓が滝 50代 男性)
- ★長期ケアを行っている方で、あまり話さない方なのに、「待っていたのよ」と声を掛けて頂けた。  
(東多田 70代 女性の担当歯科衛生士)
- ★口の中がこんなにスッキリするのなら、毎日でも来てほしい。  
(鼓が滝 50代 男性)
- ★ずっと継続してもらえて安心です。  
(施設 80代 男性)
- ★ケアに来てもらってから口臭がなくなった。  
(施設 80代 男性)

●●スタッフ紹介●●



一般社団法人川西市歯科医師会  
 副会長 今西 要

川西市歯科医師会内では、福祉医療を主とし、川西市ふれあい診療所(障がい者(児)診療)(要介護高齢者診療)(休日歯科応急診療)、歯科医師会立訪問歯科センター(訪問診療・訪問口腔ケア)、地域包括ケアなどを担当しています。福祉医療は、3本の大きな“矢”から成り立っていると考えています。

- 【第1の矢】安心・安全な医療を行なうための診療室の確保(ふれあい歯科診療所は今秋移転します。)
  - 【第2の矢】口腔ケア事業を行うための、新しいノウハウを持つ歯科衛生士の確保・養成
  - 【第3の矢】ケアを確実にいけるようにするためには、しっかりとした歯科診療ができること。(場合により、全身麻酔に近い状態で行います。)
- 川西市は、三ツ矢サイダー発祥の地として知られている様に3本の矢が1本となり初めて大きな力として、歯科福祉医療が推進していくものと考えています。